

2022年8月21日 主日礼拝賛美歌

●『讚美歌』57番（1、3、5節）

1. みさかえこよなき しゅなるかみよ
みまえにいずるは うれしきかな
3. みまえにつかうる ひとひこそは
このよのちとせに まさるものを
5. みさかえこよなき しゅなるかみよ
しゅによるみたみは さちなるかな
アーメン



●『讚美歌21』544番（1、2節）

1. イエス様が教会を この世から選び取り
新しい契約を 立てられた日のように
今日もまた主の前に 家族皆あつまって
み恵みに結ばれた この家をささげます
2. 神様を父と呼び イエス様を主と崇め
御言葉の糧を受け み教えの水を飲み
いつの日も愛しあい いつの夜も助け合う
この家の幸いを 心から祈ります
アーメン

●『讚美歌21』397番

1. やまいのどこにも なぐさめあり われらにかわりて 血をながせる
主イエスの苦しみ思い見れば 傷みはいつしか 忘れけり
2. 苦しむ時にも目を覚まして 悪魔に打たれしヨブを見れば
悩みはおのずと軽くなりて 涙のうちにも主をあがめぬ
3. 嘆きの中にも喜びあり み父は愛する子を鞭打ち
火をもて鍛うることを知れば 身を焼くばかりの苦をも忍ばん
アーメン

●『讚美歌21』28番

1. 父・子・聖霊のひとりの主よ
栄えと力は ただ主にあれ
とこしえまで
アーメン

● 『長崎の空は』

1. 長崎の空は 足もとから始まっている
大空が殉教の道行きを見守っている
失われた時を映しながら 天と地の分かれ道に
わたしは立っている
2. 長崎の空は 夜の闇におおわれている
大空が原爆の死の灰に染められている
失われた時を嘆きながら 天と地の分かれ道に
わたしは立っている
3. 長崎の空は 神の国へいざなっている
大空が地の民の信仰を抱きしめている
失われた時をうたいながら 天と地の分かれ道に
わたしは立っている

新しい時を求めながら 天と地を結ぶイエスに
ここで出会うため

